



天草四郎 生誕400年

Amakusa Shiro 400th Anniversary

スカイランタン(天灯)

スカイランタンは、中国や東南アジアでお祭りの際に打ち上げられる熱気球の一種で、無病息災を祈る民俗習慣です。2020年11月、「天草四郎生誕400年記念事業」PR動画制作のため、上天草高校の協力を得てスカイランタンを実施しました。

大矢野島(上天草市大矢野町)に生まれたとされる天草四郎時貞は、過酷な年貢の取り立てとキリスト教への弾圧に立ち向かった「島原天草一揆(天草・島原の戦い、1637年)」の総大将として江戸幕府に戦いを挑みました。当時16歳の少年であったと言われる四郎の生誕は1621年と推定され、2021年に生誕400年を迎えました。これを機に、上天草市では「天草四郎生誕400年記念事業」を実施します。



上天草市

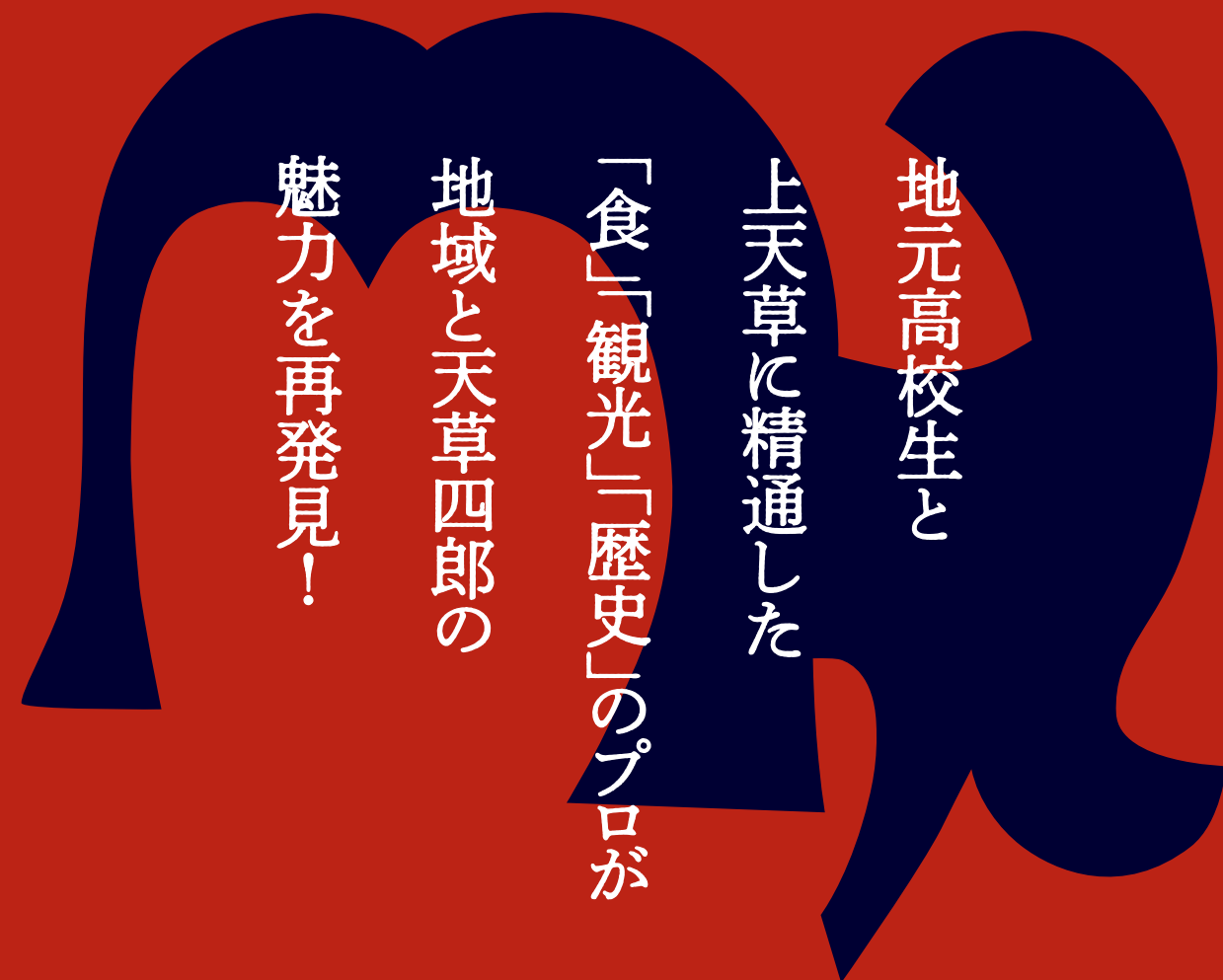
【お問い合わせ】

天草四郎生誕400年記念事業実行委員会

(観光おもてなし課内) ☎0964-26-5512

おかえり、四郎。

天草 しろ う 本



地元高校生と

上天草に精通した

「食」「観光」「歴史」のプロが

地域と天草四郎の

魅力を再発見！



天草四郎 生誕400年
Amakusa Shiro 400th Anniversary

2021年、
天草四郎は
生誕400年。

四郎が歩いた道
四郎が見た景色
それは、昔も今も
上天草の宝。

400th
天草四郎 生誕400年
Amakusa Shiro 400th Anniversary

WHAT'S? 天草しろう本

2021年は、天草四郎の生誕400年にあたります。それを記念し、上天草市では「天草四郎生誕400年記念事業」がスタートしました。この事業を盛り上げ、「天草四郎生誕の地・上天草市」をPRするために創設されたのが「天草しろう部」。県立上天草高校生と上天草市民等（校外部員）との協働による、天草四郎と地域資源の再発見活動を目的としたバーチャルな“部活”です。その活動の中心を担った上天草高校生が、自ら企画、取材、執筆した記事を盛り込んだ冊子がこの「天草しろう本」です。四郎とキリシタンの歩んだ歴史や上天草の「食・遊・癒」の情報など、高校生ならではの視点で“再発見”した地域の魅力をご覧ください！



天草しろう部
地域資源の再発見のために頑張る高校生を、食・観光・歴史など、各ジャンルに精通した校外部員の大人たちがサポート。2020年9月から、上天草高校の内外でさまざまな活動を行っています。

上天草高校



(写真左から)
岩崎真也さん 原田莉々子さん
本多希彩さん 野嶋千尋さん



(写真左から)
山下緩菜さん 荒木優月さん
小崎海羽さん 成田華さん

校外部員



“歴史の専門家”
安高啓明さん
熊本大学文学部准教授



“観光の専門家”
杉本健一さん
一般社団法人天草四郎
観光協会事務局長



“食の専門家”
渡邊経夫さん
天草大王パル
サンはらっぱ代表

※本誌記事中の、所=住所、圖=営業時間、休=定休日・休館日、料=使用料・入場料、交=交通アクセス、URL=ホームページアドレス

3万7千の民衆を率いて 戦った救世主 天草四郎の足跡をたどる

2021年、生誕400年を迎えるとされる天草四郎。日本の歴史上最大規模の一揆「島原・天草一揆(天草・島原の戦い)」で、16歳にして一揆勢の総大将となった四郎はどんな人物だったのか？ その歴史を振り返ります。

天草・キリシタン関連年表

ママコス上人(マルコス・フェラロ)が「25年後に天変地異が起きる。その際に16歳の救世主が現れ、キリスト教に準じる者は救われる」との予言をする。

益田四郎(後の天草四郎)、天草諸島大矢野島にて誕生

四郎は長崎などを度々訪問し、学問に励む

島原・天草一揆勃発。
四郎が総大将となり、一揆を指揮・指導

四郎は肥後藩士・陣佐左衛門によって城内にて斬首され、一揆勢3万7千人が散る

キリシタン、農民への非情な弾圧

キリシタン大名・小西行長の家臣だった益田甚兵衛と、その妻マルタ(洗礼名)の間に生まれた天草四郎。9歳で手習いを始め、蘭学等を学ぶため度々長崎へ渡っており、教養豊かな人物であったといわれています。その頃天草では、富岡城の番代・三宅藤兵衛が志岐に「いばらの獄舎」を建て、キリシタン210余人を投獄。さらに河内浦(河浦町)にも「竹籠の獄舎」を設け、キリシタン弾圧は過酷を極めていきました。さらに追い討ちをかけるように台風や凶作が続き、大飢饉が発生。それでも幕府による厳しい年貢が課されていた農民は、極貧にあえいでいました。

そうした状況の中、口之津(南島原市)で天草から嫁いできた妊婦が、年貢が納められなかったことを理由に、寒中の川にさらされ代官に殺害されるという残虐な事件が発生。キリシタンや農民の怒りが爆発します。

1549年	フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸。キリスト教伝来
1565年	天草五人衆の一人、志岐城城主・志岐鎮経(麟泉)が宣教師派遣を要請
1566年	修道士ルイス・デ・アルメイダが天草に派遣され、鎮経が洗礼を受ける
1587年	豊臣秀吉が九州征伐、「伴天連追放令」(キリスト教宣教師の国外退去)を発布、天草五人衆の大矢野種基が受洗
1588年	キリシタン大名・小西行長が宇土の領主となり、天草五人衆が与力になる
1589年	小西行長と加藤清正の連合軍による天草征伐。天草が小西行長の所領となる
1591年	島原・加津佐のコレジオ(聖職者育成のための神学校)を天草に移設。天正少年遣欧使節団の持ち帰ったグーテンベルク印刷機によって天草本の出版開始
1600年	関ヶ原の戦いで、小西行長が敗死
1601年	天草全島が唐津城主・寺沢広高領になる。富岡に築城し、城代を置く
1603年	徳川家康が征夷大将軍となり、江戸幕府が始まる
1613年	幕府が禁教令を直轄領に出し、翌年に全国へ発布する
1614年	志岐教会のガルシア・ガルセス、上津浦教会のマルコス・フェラロ両神父が国外追放 その後、志岐の教会を守るようになった日本人のアダム荒川が斬首される
1616年	検地によって天草を4万2千石余と規定。これを基準に重税を課し、領民の限界を超える税を取り立てた
1621年	
1625年	寺沢広高が隠居し、堅高が領主となる
1629年	富岡城番代・三宅藤兵衛により天草領内のキリシタンを大検挙。その数200人を超えるといわれている
1630年代前半	
1633年	第一次鎖国令の発布。海外渡航の制限と5年以上海外に在住した日本人の帰国を禁止
1635年・36年	天草に大型台風が直撃し、凶作による大飢饉に陥る
1637年	
1638年	
1641年	天草が幕府直轄領となり、代官に鈴木重成が就任
1659年	2代目代官・鈴木重辰の進言で石高を半減
1805年	高浜、大江、崎津、今富に潜伏キリシタン5205人が発覚(俗にいう「天草崩れ」)
1853年	ペリーが浦賀に来航。翌年に日米和親条約が締結される
1857年	踏み絵の廃止が長崎で通達される
1873年	明治政府が切支丹禁制の高札を撤去
1882年	フェリエ神父が大江、崎津に就任。キリスト教の復活期を迎える

救世主・天草四郎、現る！

民衆は国外追放されたママコス上人が残した予言である「救世主出現」の言葉を忘れずにいました。幼少より聡明で容姿端麗だった四郎はカリスマ性があり、キリシタンたちの間で次第に救世主的存在と見なされるようになります。

そして1637年10月、大矢野の宮津教会で四郎を一揆勢の総大将として擁立。11月に島原で一揆の火の手が上がり、続いて大矢野町へ。一揆勢は大島子(天草市)、町山口川(同市)の戦いで勝利を収め、勢いに乗って富岡城(苓北町)を攻めますが、難攻不落の富岡城攻めをあきらめ、海を渡って原城(南島原市)へ向かいました。しかし、3カ月におよぶ籠城の末、幕府軍の攻撃に耐え切れず、ついには四郎も討ち取られてしまいました。

多くの民衆を率いて戦った若き総大将・天草四郎。その生涯は未だ謎に多くの包まれています。生誕400年を迎える2021年、ゆかりの地・上天草で四郎の息遣いを感じながら、歴史ロマンに思いを馳せてみませんか？



天草四郎の同志を祭る神社

もりそういけんじんじや

森宗意軒神社

天草四郎率いる一揆勢の参謀の一人で、医学にも精通していた森宗意軒を祭った神社。故・山田風太郎の小説「魔界転生」にも妖術師として登場します。地元では「もりすけさん」の愛称で親しまれ、ここにお参りすると「体調が良くなった」「歯痛が治った」などの霊験を伝える逸話も多いとか。

☎0964-56-5602(天草四郎観光協会)
所 上天草市大矢野町中柳地区

四郎が起こした？ 奇跡、アレコレ



その1

四郎が手に招き寄せた
鳩が産んだ卵から、
キリスト教の教文を取り出した！?

その2

上天草と島原半島との
間に浮かぶ湯島までの
海上を歩いて渡った！?



その3

盲目の少女に触れたら、
少女の目が
見えるようになった!?



その4

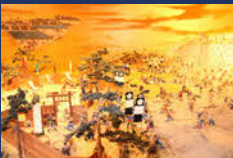
四郎が竹の枝にとまったスズメに
近寄って呪文を唱えようと、
スズメは動けなくなった。
四郎はその竹の枝を折って、
スズメと一緒に持ち帰った。

天草四郎が生き抜いた時代を体感

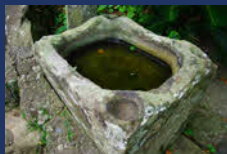
天草四郎 ミュージアム

天草四郎を中心に繰り広げられた島原・天草一揆の歴史的背景や、南蛮文化の影響を受けた当時の様子を映像・ジオラマで紹介。展示室では、熊本大学・安高啓明研究室による実物史料を用いたキリシタン展示や定期的な企画展を実施しています。

☎0964-56-5311
所 上天草市大矢野町中977-1
営 9:00~17:00(最終入館は~16:20)
休 12/29~1/1、1・6月の第2水曜
料 大人600円、中学生以下300円、幼児無料



島原・天草一揆の様子を再現したジオラマ。当時の戦いの様子がひと目で分かります



湯島での談合の傍ら、一揆勢が使用する武器を製造した際に使われたと伝えられている鍛冶水盤



天草・島原両軍の談合伝説が残る島

湯島

周囲4kmの小さな島に、住民約300人と約200匹の猫が穏やかに暮らしています。島原・天草一揆の際には、天草と島原双方の一揆勢が談合を行ったことから、別名「談合島」と呼ばれ、今でも島の各所に「談合の碑」や「キリシタン墓碑」があります。島内の諏訪神社の境内には、武器製造に使ったと言われる鍛冶水盤も現存。

☎0964-56-5602(天草四郎観光協会)
所 上天草市湯島
営 江橋戸港(上天草市大矢野町上625-3)から定期船で約30分
料 大人(中学生以上)600円、小人300円



謎多き四郎を知る
く上天草市にあるゆかりのスポットく

天草四郎が“〇〇したかも”

上天草を訪れた皆さんは、「天草四郎が通った道」を歩いてみたいと思ったことはありませんか？

私たち「天草しろう部・A班」は、かつて四郎が通ったかもしれない道や

天草・島原などに残る四郎に関するエピソード&像を調査！

「本当かな?」と思う話から、思わず涙してしまうエピソードまでをギュッと詰め込みました。

ロマンあふれる“天草四郎の足跡をたどる地図”を、ぜひお楽しみください。

四郎が
行った！
かもしれない
スポット

その1

いわじま

維和島

四郎も眺めた!?

展望台からの夕日は必見

大矢野島と橋で結ばれた維和島は、温暖な気候を生かしたかんきつ類の栽培や車エビの養殖などが盛んで、海と山の幸に恵まれた島です。九州で初めて認定された九州オルレ「天草・維和島コース」は、海辺から見晴らしの良い高台までさまざまな風景が楽しめます。島内には、「天草四郎が通ったかもしれない道」があり、展望台からは有明海に沈む“四郎が眺めたかもしれない”夕日を眺めることができます。

その2

えびとこう

江樋戸港

談合に参加した四郎も、
ここから渡った!?

大矢野島の南西部にあり、大矢野島と維和島の湯島を結ぶ航路の発着港として重要な役割を果たしています。湯島は、島原天草一揆の際に住民たちが戦略会議をしたことから「談合島」とも呼ばれています。もし、四郎が談合に参加していたなら、当時もこの港から湯島まで船で渡ったのかもしれません。

その3

せんかんざん

千巖山

出陣を控えた四郎が
祝宴を開いた山かも!?

山頂からは天草五橋や八代海、有明海などが見渡せ、天気によれば阿蘇まで眺めることもできるほか、春には植林した桜と自生の山桜が咲き、一年を通して訪れる人々を楽しませてくれます。1637(寛永14)年の島原天草一揆勃発時には、総大将の天草四郎が山頂で出陣の祝宴を開き、酒を酌み交わしたと伝えられています。



千巖山からの眺め

湯島

天草島原で見つけた！
天草四郎像

A 藍のあまくさ村

県内最大級の四郎像は圧巻！

当時呉服屋を営んでいた、初期「あまくさ村」の会長の夢に、天草四郎が出てきました。それをきっかけに「天草四郎の像を建てよう」という思いが生まれ、現在の「藍のあまくさ村」に1990(平成2)年に像が建てられました。両手でロザリオを握り、目を伏せる姿が印象的で、県内で最も大きな四郎像です。



熊本や天草の特産品が並ぶ土産物店。ちくわは、店で作られていて出来立てをいただくことができます。他にも、アイスクリームやタピオカドリンクのテイクアウトもでき、上天草の人気スポットの一つです。

☎0964-56-5151 所 上天草市大矢野町登立910
開 9:00~18:00
休 12月31日、1月1日の2日間
URL http://www.amakusamura.jp/

B 天草四郎ミュージアム

像のポーズは四郎の伝説に由来

ミュージアムの建設に合わせ、「島原天草一揆によって亡くなった人たちの魂を慰めたい」との思いを込めて建てられたもので、右手を天に掲げ、左手は胸の前で祈りを捧げています。これは、このポーズで四郎が祈りを捧げていた時、一羽の鳩が指先に止まり、彼が手のひらを差し出すと卵を産み、その卵からキリストの絵と巻物の聖書が出てきたという逸話に由来しています。



☎0964-56-5311 所 上天草市大矢野町中977-1
開 9:00~17:00(最終入館16:20) 休 12/29~1/1、1・6月の第2水曜日
料 大人600円、中学生以下300円、幼児無料
URL https://www.city.kamiamakusa.kumamoto.jp/q/list/464.html

しれない!?"±地図

維和島

維和島

A 藍のあまくさ村 ★

B 天草四郎ミュージアム

C 天草パールセンター

千巖山

©天草パールセンター

C 天草パールセンター

☎0969-56-1155 所 上天草市松島町合津6225-8
開 9:00~17:00
休 年中無休
URL http://www.amakusapearly.com/

E 鬼池港 ★

D 天草キリシタン館

上天草市

F 原城跡



天草市立天草キリシタン館蔵

D 天草キリシタン館

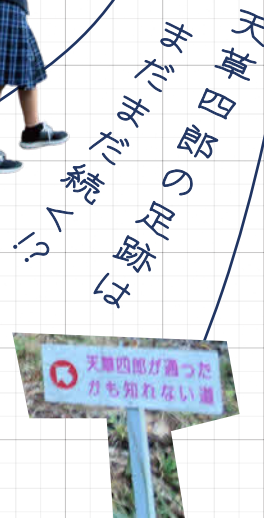
☎0969-22-3845 所 天草市船之尾町19-52(殉教公園内)
開 8:30~17:00(最終入館16:30)
休 火曜(祝日の場合は翌日以降の平日)、12/30~1/1
料 一般300円、高校生200円、小中学生150円
URL http://hp.amakusa-web.jp/a0905/MyHp/Pub/

E 鬼池港

☎0969-32-1727 所 天草市五和町鬼池5087-2(鬼池港ターミナル内)

F 原城跡

☎0957-76-1800(南島原ひまわり観光協会) 所 長崎県南島原市南有馬町



天草四郎の足跡は
もしかしたら
ここにもあるかも!



©(一社)長崎県観光連盟

天草四郎のホントの姿 (秘) 大公開

「天草四郎」と聞き、皆さんが想像するのは、きっと派手なマントに高く結った黒い髪、そして、印象的な首元の白いボンボンを身に付けた姿ではないでしょうか。しかし、なんとこのスタイルは、当時の時代背景を基に描かれたイメージ像だったのです!! 実は、天草四郎の容貌などについての詳細な資料は、ほとんど見つかりません。そこで、キリシタン研究の第一人者で、熊本大学文学部准教授の安高啓明先生に話を聞き、私たちなりに描いた四郎の姿を(秘)大公開します。



「上天草四郎くん」
上天草の特命係長

これが四郎の想像図!

天草四郎がどのような立ちをだっただかを調べるために、私たちは熊本大学・・・キリシタン研究の第一人者である安高先生に話を聞きました。その話を基に、私たちなりの「四郎」を描いてみました!



容姿

髪形

四郎の髪形について書かれた資料がないため想像です。像やイラストの天草四郎は、つむじの周りが水色で前髪が割れていて、後ろで一つ結びをしているものが多く、どれも似たり寄ったりに描かれています。

身長と顔

四郎についての証言で「五尺程」とあるので、152cmくらいの高さだと思われます。また、顔は四郎が亡くなった後の資料に、「美少年」「あばた顔」などの情報が出てきます。

からむし縄

カラムシというイラクサの仲間の繊維をより合わせて作った縄を三つ編みにして、頭から回し、あごの下で止め、額にはキリスト教を象徴する十字架を立てていたといわれています。

白の綾織物

当時は、身分によって着るものが違い、お百姓さんなどは浴衣のような服が圧倒的でした。天草四郎は、白い綾織物を着ていたそうです。首にフリフリを付けている四郎の絵や像をよく見ますが、あれは宣教師などがしていた格好で、四郎が付けていた可能性は低いとのこと。伊東マンショらの天正遣欧使節団などは、団員の身分が高くキリシタンの服装をしていたので、それと混同しているのではと考えられます。

私たちが描いた
四郎の想像図はいかがですか?



履物

おそらく、わらじを履いていたと考えられています。当時、靴は高価なものだったため、日本で靴を履いていた人は極めて少なかったそうです。

たっつけ袴

裾の長いヒラヒラしたものを履いているのかと思いきや、戦いに行く時には「たっつけ袴」といい、動きやすくするために、膝の下まではふんわりしてて裾は細く絞ったものを履いていました。袴の色は、黒か紺だったそうです。

服装

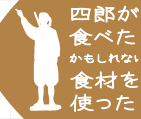
御幣

元々は神様への捧げ物の一つですが、時には神そのものを示す場合もあります。天草四郎は、海の上を歩るなど数々の奇跡を起こしたとされており、神様に近い存在であることから、手には御幣を持っていたといわれています。

400
天草しろう部

「天草しろう部」
プロデュース特集 2

「天草しろう部」の活動の一環で、しろう部メンバーの県立上天草高校の生徒たちが2つの班に分かれ、自分たちの住む地域の魅力を再発見するべく、テーマを考え、取材し、原稿をまとめました。高校生らしい視点で捉えた「新しい上天草」が見つかるかも!



上天草スイーツ巡り

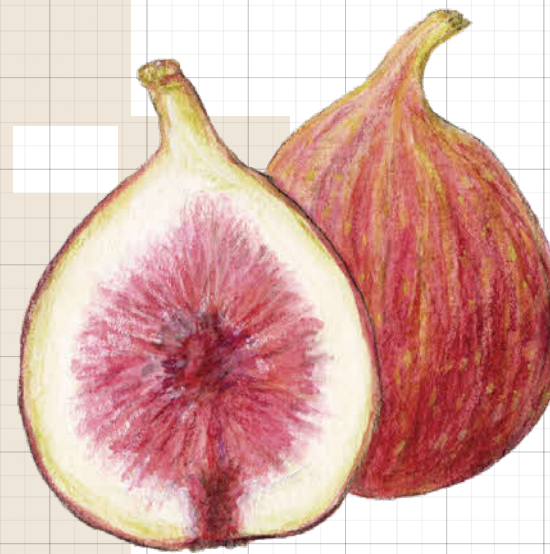
上天草市は、クルマエビやハモ、マダイなどの海産物や、天草大王や梅肉ポークなどの畜産物のほか、

温暖な気候を利用したかんきつ類などの果樹栽培、カスミ草などの花き栽培も盛んです。

そうした豊富な食材の中には、「昔、天草四郎が食べたかもしれないもの」もあるはずです。

そこで、私たち「天草しろう部・B班」は、古くから上天草にあり、四郎も口にした可能性のある食材について調べてみました。

さらに、その食材を使ったスイーツを提供している地元のお菓子店やケーキ店を紹介します!



イチジク

FIG

クワ科の落葉高木で、原産地はアラビア南部。漢字では「花無果」と表記する。これは、イチジクが花を咲かせずに実をつけるように見えることに由来するといわれている。

カルシウムや鉄分、カリウムなどのミネラル分を豊富に含んでいる。また、水溶性の食物繊維であるペクチンも豊富で、腸の活動を活発にし、便秘を解消する効果もあるとされている。

日本では天草が発祥!?

栄養豊富で女性に人気の夏のフルーツ

16世紀後半に南蛮文化の影響を色濃く受けた天草では、宣教師によってキリスト教も広まりました。また、4人の少年をローマに派遣した「天正遣欧少年使節」が帰国後に活動した地でもあり、活版印刷機など、さまざまな西洋の文化が伝えられました。

イチジクも、そのころ伝わったとされ、天正遣欧少年使節を引率したメスキータ神父の手紙には、「ポルトガルのリスボンからイチジクの苗を持ち帰った」という記述があり、天草は「日本のイチジク発祥の地」ともいわれています。天草では、イチジクは「南蛮柿(なんばんがき)」と呼ばれ、夏のフルーツとして親しまれていて、最近では旬の時期(8~9月)に、イチジクを使ったスイーツや料理を提供するフェアなども開催されています。

サツマイモ

SWEET POTATO

ヒルガオ科の植物で、原産地は南アメリカ大陸の熱帯地方(現在のペルー付近)とされている。サツマイモとして食べるのは、根が養分を蓄えて肥大化した「塊根(かいこん)」といわれる部分。

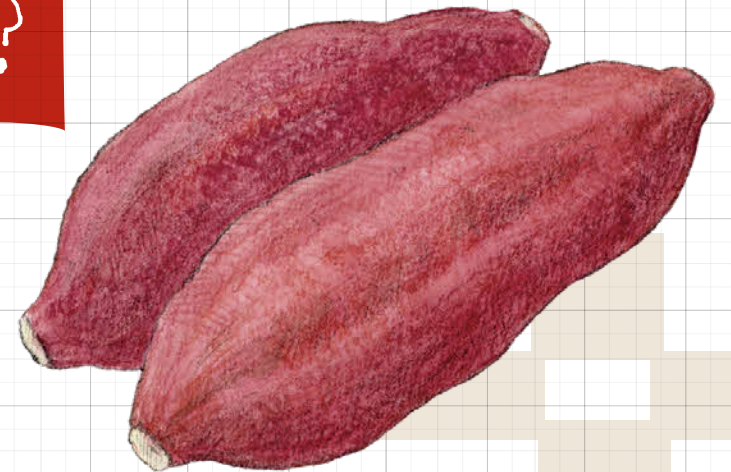
風邪予防や疲労回復、肌荒れなどに効果のあるビタミンCを多く含んでいる。また、サツマイモのビタミンCはデンプンに守られていて、加熱しても壊れにくい特長がある。食物繊維やカリウムも豊富。

薩摩に伝わったからサツマイモ!?

天草でも伝統食「こっぱ」の材料に

南米原産のサツマイモは、アメリカ大陸を発見したコロンブスによってヨーロッパに持ち帰られ、その後、スペイン人やポルトガル人らが持ち込み、東南アジア、中国へと広がったとされています。日本には、17世紀前半に中国から琉球(現在の沖縄県)に伝わり、さらに薩摩(現在の鹿児島県)に伝わりました。そのため、日本では一般的に「サツマイモ」と呼ばれています。

天草地方でも古くから栽培が行われていて、サツマイモを煮干して乾燥させる「こっぱ」が保存食として重宝されてきました。今も、伝統的な製法を用いた「こっぱもち」として、天草土産になっています。



かもしれない食材って何?

四郎が食べた食材

「四郎が食べたかもしれない食材」として私たちが注目したのは、彼が生きた江戸時代ごろに、すでに天草で栽培されていたとされる「イチジク」と「サツマイモ」です。

いざ!上天草 スイーツ巡り

このおいしさ四郎

上天草市で、イチジクやサツマイモを使ったスイーツを販売している店に取材に行き、実際に試食をしたり、お店の方にインタビューを行ったりしました。皆さんも、上天草にお越しの際には、ぜひ立ち寄ってみてください。インターネット通販で商品が購入できる店もありますよ!

創作菓子工房 アローム

☎0964-56-4800
所 上天草市大矢野町中841-28
営 10:00~19:00
休 月曜・第3火曜



スウィートポテト 1g・22 円
※大きさにより価格が異なります。

本物のサツマイモを模した形をしていて、食感もホクホク感があり、サツマイモ本来の味を楽しむことができます。また、皮の部分にはアーモンドクリームが絞ってあり、香ばしさを引き立てています。甘すぎず、子どもから大人までおいしく食べることができるスイーツですよ。



自慢のオープン前に微笑む店主の大野さん



おやつ家 菓音

☎0964-27-9787
所 上天草市大矢野町上1478三習堂店舗2F
営 10:00~14:00、15:00~19:00 (土・日曜、祝日は~18:00)
URL <https://www.facebook.com/oyatsuyakanon2019/> (Facebook)



スイートポテトパイ 260 円

地元湯島産の紅はるかを使用した一品。サツマイモ本来の甘さを生かすために砂糖の量を少な目にし、パイで包んだシンプルなお菓子。コーヒーやお茶との相性が抜群で、イートインスペースで出来立てを食べることもできます。

サツマイモクッキー 180 円

本物のサツマイモの形を意識し、輪切りにしたような断面に。生地には、上天草市湯島産の紅はるかが練りこんであり、素材本来の味を楽しむことができます。地元湯島産の紅はるかを使用した一品。



地元・上天草の湯島出身の店主・高橋さん

サツマイモ

サツマイモ&イチジクを使った新メニューも誕生!

今回、私たちの活動「天草しろう部」の一員で、「上天草の食の専門家」としてアドバイスをくださった、地元飲食店「サンはらいっぱい」の渡邊さんの協力の下、サツマイモとイチジクを使った新たなメニューを作ってみました!



地元の食材を使ったメニューで、「上天草の素晴らしさ」をアピールできるように、上天草高校生たちと一緒に一生懸命考えました!

天草大王パルサンはらいっぱい CEO(最幸笑顔責任者) 渡邊経夫さん

スティック状にして揚げたサツマイモの上にイチジクソースをかけ、添えてあるバニラアイスと一緒に楽しめます!

お芋スティック 430 円 [税別]



にも口味わってほしい!

イチジク



リゾラテラス天草

☎0969-56-3450
所 上天草市松島町合津北前島6215-16
営 平日/11:00~21:00、土日・祝日/10:30~21:00
URL <http://www.lisolaterrace.com/>



ケーキ工房 パンプキン

☎0969-56-2505
所 上天草市松島町合津7914-27
営 9:00~19:00
休 水曜



いちじくロール 1,400 円 [夏季限定]

スポンジ生地にはアールグレイ紅茶が使われていて、イチジクとの相性が良く、大人の味に仕上がっています。さらに、ロールケーキの中にもイチジクが入っていて、おいしいイチジクを存分に堪能することができます。



いちじく大福 380 円 [夏季限定]

イチジクをカスタードで包み、さらに大福の生地でくるんだ和洋折衷の一品。大福のもちもちとした食感と一緒にイチジクを楽しむことができます。

イチジクパフェ 1,056 円 [夏季限定]

2種類の自家製ジェラートに、イチジクを丸ごと1個使ったオリジナルパフェ。パフェの中には杏仁豆腐も入っていて、イチジクとの相性もピッタリ! 最後のひと口までいろんな味が楽しめます!

イチジクプレート (夏のスイーツプレート) 1,650 円 [夏季限定]



イチジクタルト、杏仁豆腐のレモンジュレ添え、自家製ジェラート、ロッシュなど、爽やかな4種のスイーツの盛り合わせ。贅沢な気分が味わえるプレートデザートです!



上天草の爽やかな潮風のようなイケメンスタッフの馬場さん



フルーツ&ドーナツ 430 円 [税別]

ドーナツとバニラアイスが意外にも相性が良く、添えてあるイチジクの果肉の自然な甘さと一緒に味わうことで、さらにおいしさが際立ちます。

外はサクッ、中はふわトロのフレンチトーストにイチジクソースをかけた温かいスイーツ。イチジクの風味が口いっぱいに広がります。



フレンチトースト 630 円 [税別]

天草大王パルサンはらいっぱい

女性客でも気軽に立ち寄ることができるオシャレな雰囲気のお店。お客様が「幸せ」を感じられる料理作りをモットーに、さまざまな創作料理を提供しています。ブランド鶏「天草大王」をはじめ、天草ならではの食材を使ったメニューが豊富で、県外からの観光客にも人気です!

☎0969-56-1915
所 上天草市松島町合津3351-1
営 18:00~23:00 (オーダーストップ22:30)
休 不定

地図情報はQRコードを読み込んでください!



九州山地の養分が注ぎ込み、南から流れ込む海流によって豊かな漁場が形成される上天草の海。温暖な気候と相まって豊富な海の幸、山の幸が獲れるのも魅力の一つです。湯島沖で獲れる天然のマダイをはじめ、脂のり上質な旨味を感じる“黄金のハモ”、日本有数の生産量を誇るクルマエビなどは、全国の市場でも高い評価を受けています。山の幸では、熊本県が10年の歳月をかけて復元した日本最大級の地鶏“天草大王”や、別名“ジュシーオレンジ”と呼ばれるあまくさ晩柑やパール柑など、この土地ならではの「食財」も楽しめます。

「食財の宝庫」
お腹と心も満ちます

私たちのふるさと 上天草の たからもの

天草四郎をはじめ、先人たちが守り継いできた
上天草市の豊かな自然の恵みは、
今を生きる私たちにとって、
かけがえのない大切な“たからもの”です。

海も山も大満喫の豊富な

アクティビティ

四方を海に囲まれた上天草市では、バラエティーに富んだマリレジャーを楽しむことができます。穏やかな海だからこそ初心者でも安心して体験できるシーカヤックやSUP(サップ=Stand-Up Paddle board)のほか、1年を通して98%の確率で野生のイルカに出会えるイルカウォッチングも人気です。また、九州百名山にも選ばれ、低山ながら山頂から望む絶景を求めて多くの登山客が訪れる次郎丸嶽や龍ヶ岳などへのトレッキング、潮風が心地よい海沿いから高低差を満喫できる山道まで、さまざまなコースを走れるサイクリングも注目を集めています。

インスタ映え間違いなしの 絶景スポット

宮城県・陸前・松島、長崎県・九十九島とともに「日本三大松島」に数えられる天草松島。大矢野島と上島の間に連なる約20の島々の総称で、青く澄んだ海と空を眺望できる日中はもちろん、夕陽に映える島影が美しい夕暮れ時もおおすすめです。その他、国指定文化財・名勝で、「日本の夕陽百選」にも認定されている高舞登山(たかぶとやま、標高162mの山頂展望台から天草五橋を一望でき、桜の季節には山肌がピンクに染まる千巖山(せんがんざん)などもあります。あなたの感性で、季節ごとに異なる表情を見せる上天草を切り取ってみてください。

浸かって眺めて、五感で楽しむ

癒しの温泉

上天草温泉郷は、大矢野温泉と松島温泉からなる温泉郷で、主な泉質は「塩化物泉」。“塩のペール”が体を優しく包み込んでくれ、芯からポカポカと温めてくれるだけでなく、保温効果や乾燥肌の改善にも効果的で、美人湯と評判です。ほとんどのホテル・宿の大浴場、露天風呂から「日本の夕陽百選」に選ばれた鮮やかな夕陽を大パノラマで望むことができ、自然環境が身も心も癒す“転地効果”も期待できるのだそう。温泉、絶景、そしておいしい山海の幸のグルメを組み合わせれば、“健康美人”になれること間違いなしです。



活動報告①

「天草しろろう部」スタート

2020年9月1日、県立上天草高校で同校の2年生8人と、上天草の歴史・観光・食に詳しい3人の“校外部員”の計11人が集まり、「天草しろろう部」の活動がスタートしました。最初は緊張気味だった生徒たち。しかし、各ジャンルの専門家(校外部員)の話や、メインの活動となる「しろろう本」作りのレクチャーを受けて、徐々に興味が湧いてきていました。



活動報告②

Facebookでも活動を発信

「天草しろろう部」の活動は、Facebookを通じて一般の方々にも発信。「天草しろろう本」作りに向けた校内でのワークショップの様子や「天草四郎生誕400年記念事業」をPRするための動画撮影に参加した様子などを紹介しています。また、Facebookを通じて活動を知った地元新聞社からの取材を受けるなど、活動のPRにもひと役買いました。



活動報告③

「天草しろろう本」作りに奔走

数度のワークショップを重ねて、生徒たちは「天草しろろう本」で作る記事を、「どんな内容にするか?」「どこに取材に行くか?」を決めていきました。初めて経験した取材では緊張して思ったように質問が出てこない場面もありましたが、しっかりと誌面づくりに必要な写真やコメントなどの材料集めを行い、こうして無事“カタチ”になりました。



活動報告④

「天草四郎生誕400年記念事業」PR動画に参加

「天草しろろう部」の活動目的の一つは、2021年に行われる予定の「天草四郎生誕400年記念事業」へ向けた機運を盛り上げるため、PR動画の撮影が上天草高校で行われ、「天草しろろう部」のメンバーはもちろん、学校を挙げて協力。ドローンなどを駆使した大掛かりな撮影は、生徒たちにとっていい思い出と経験になりました。

PR動画を見るには、このQRコードを読み込んでください!



活動報告⑤

新たな名物料理作りに挑戦!?

「天草しろろう本」を制作する過程で、しろろう部の生徒たちは天草の食材に着目。実際に、特産の食材の一つであるイチジクを使った料理を、しろろう部の校外部員の一人で、上天草市内で飲食店を営む渡邊さんに依頼しました(p9参照)。これをきっかけに、「天草しろろう部」の新たな成果として、海鮮や天草大王に並ぶ名物料理が生まれるかもしれません。